

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉学部
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。

進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 社会福祉、教育、健康、国際援助関連の実践現場や企業において、人間福祉に関する専門的な価値・知識・技術を身につけて働ける人材や、それら領域の研究職を目指す人材を養成する。	→社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験資格合格率、中学校・高等学校教員免許取得者数、公務員試験合格者数、スクール・ソーシャルワーカー修了証発行数、初級障害者スポーツ指導員資格・キャンプインストラクター資格取得者数、福祉・健康・教育関連施設・機関・企業への就職率、福祉・健康・教育国際援助関連NPO・NGO団体への就職率、大学院進学率、社会起業の立ち上げ数。	-	-			
2. 学部の使命と目的が学部学生や保証人に周知されているか、アンケートを実施し広報活動の効果を測定する。	→報告書の作成。	D	C			
3. 学部の固有性および特色について定期的に検証する。	→ワーキング/グループの設置と検討回数、および報告書の作成とその公表の部数。	C	B			
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目0.0.1	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。 (理念・目的の設定の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→ <input checked="" type="radio"/> 理念・目的を設定している <input type="radio"/> 理念・目的を設定していない (理念・目的) 人間と社会、そしてその相互作用に関わる諸課題に対してソリューションを提供することによって、質の高い生活と社会の実現に貢献することをミッションとする。今日の超少子高齢社会からの要請に応え、「人間」とその生活環境としての「社会」、そしてその両者の交渉関連として「相互作用」の「質」向上に貢献する「実学の府」であることを目指す。 (説明) 人間福祉学部創設時に上記教育研究の理念と目的を定めた。	
	小項目0.0.2	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。 (周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→ <input checked="" type="radio"/> 周知・公表している <input type="radio"/> 周知・公表していない (説明) 学部ホームページ、授業科目入試心得、大学案内、空の翼を用いて、公表している。さらに学生に対しては、年度初めのオリエンテーションや授業を通じて、学部の理念・目的を伝えている。
	小項目0.0.3	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。 (検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない (説明) 2012年度から3学科において新カリキュラムをスタートするための検討・構築作業を行なっているが、その中で、学部の理念・目的の適切性について討議した。
その他		

《評価指標データ》

本学の育成した人材（卒業生）に対する社会（企業）の評価
 卒業生がどの程度スクールモットー(マスター・フォア・サービス)をどの意識しているか【基本的な基礎データ】
 卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人の比率【基本的な基礎データ】
 卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人で、「スクールモットーに共感できる」ことをその理由とする人の比率
 在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率
 理念の周知について(1)－理念・教育目標を宣布する発行物・行事などの種類・数
 理念の周知について(2)－総合コース「『関学』学」の履修者数

☆ 追加データがあれば追加してください。

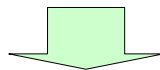
◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。	
小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
小項目0.0.3	2010年度4月から毎月、各学科連絡会と学部長室委員会で検討・討議を行なった。その結果、2012年度開始の新カリキュラムを作成した。
その他	
↓	
《次年度に向けた方策(1)》伸ばさせるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。	
小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
小項目0.0.3	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
★ 小項目0.0.3	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
★ 小項目0.0.3	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	人間福祉学部の理念と目的の達成を裏付ける2009年度の目標を設定したが、卒業生を輩出していないため、進捗状況の評価はできない。
-----------------	---

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○学部の理念・目的に沿った新カリキュラムの作成が着実に進められています。学生等に対する理念・目的の周知について、調査結果が期待されます。

【学内委員】

○人間福祉学部の理念・目的の設定、公表は適切に行われており、評価できます。

○2008年度の学部開設以来、今年度2011年度で4年目となり、学部の使命・目的の周知、学部の特色の検証などが行われ、着実に進展しています。ただし、2012年3月の第1期生の卒業待ちではなく、早めのデータ収集が期待されます。

○理念・目的の周知についての測定は難しい問題ですが、目標2の進捗が期待されます。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目0.0.1

基盤評価：「学部、学科または課程ごとに、大学院は研究科または専攻ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を学則またはこれに準ずる規則等に定めていること」「高等教育機関として大学が追求すべき目的を踏まえて、当該大学、学部・研究科の理念・目的を設定していること」

達成度評価：「建学の精神、目指すべき方向性や達成すべき成果等を明らかにし、当該大学、学部・研究科の理念・目的として適切である」

○小項目0.0.2

基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生、受験生を含む社会一般に対して、当該大学・学部・研究科の理念・目的を周知・公表していること」

達成度評価：「理念・目的の周知・公表に関する各種方策（周知・公表の有効性や方法の適切性等の定期的な検証・改善など）をとり、当該大学に対する理解向上につながっている」

○小項目0.0.3

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、理念・目的の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

○2009年度に策定した目標1関連のデータを集計する。

★ ○目標2の保証人に対するアンケート調査報告書を作成する。